

# 高齢者のための嚥下内視鏡検査 Hyodo-Komagane Score

ID \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_ M / F 年齢 \_\_\_\_\_ 診断名 \_\_\_\_\_ 検査実施日 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_

① 唾液貯留

- 0 : 喉頭蓋谷と梨状陥凹に貯留が無い。
- 1 : 喉頭蓋谷のみ貯留がある。
- 2 : 梨状陥凹に貯留があるが喉頭腔への流入はない。
- 3 : 梨状陥凹に貯留があり喉頭腔へ流入する。☞

①

② 咳反射と声門閉鎖反射の惹起性（喉頭蓋喉頭面基部か披裂部に触れる）

/i/と発声した時の声帯閉鎖状態を確認。

+

- 0 : 1～2回の刺激で反射が惹起される（又は嚥下によるホワイトアウトか確認できる）。
- 1 : 1～2回の刺激で反射が惹起されるが弱い（又は嚥下が緩慢でホワイトアウトも弱い）。
- 2 : 3回以上の刺激で反射が惹起される（又は嚥下が確認できる）。
- 3 : 3回以上の刺激でも反射の惹起が確認できない（又は嚥下も確認できない）。☞

②

③ 嚥下反射の惹起性（有色チューブ式クラッシュゼリー★約3ml 経口）

- 0 : クラッシュゼリーの咽頭流入時に嚥下反射が観察できる。
- 1 : クラッシュゼリーが喉頭蓋谷に達してから嚥下反射が観察できる。
- 2 : クラッシュゼリーが梨状陥凹に達してから嚥下反射が観察できる。
- 3 : クラッシュゼリーが梨状陥凹に達してもすぐには嚥下反射が起きない。☞

+

嚥下時の喉頭腔への直接流入と喉頭蓋谷からの流入には側・屈臥位での適応角度確認へ ☞  
 嚥下発動の低下等送り込みの低下に対する仰臥位角度低下対応は適応角度確認へ ☞

③

④ 嚥下後の咽頭クリアランス

+

- 0 : 喉頭蓋谷と梨状陥凹に残留なし。
- 1 : 喉頭蓋谷に残留があるが、複数回の嚥下で wash out される。
- 2 : 梨状陥凹に残留があり、複数回嚥下を行っても wash out されない。
- 3 : 梨状陥凹の残留が喉頭腔へ流入する。☞

④

合計

☞ 判定基準が8点以下で評価点3が1項目以上ある場合は嚥下調整食☆（開始食）の経口残留の有無とクラッシュゼリー交互嚥下による Wash out 効果の確認を推奨する。

コメント	<p style="text-align: center;">☞ 姿 整 (角度°)</p> <p style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/>仰臥位 <input type="checkbox"/>側屈 <input type="checkbox"/>側臥位  <input type="checkbox"/>頭頸部回旋 <input type="checkbox"/>右へ<input type="checkbox"/>左へ                  ( ) ( ) ( ) ( )             </p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p style="text-align: center;"><b>判定基準</b></p> <p style="text-align: center;">(4項目スコア合計)</p> <p><input type="checkbox"/> 7点以下 経口摂取可 (ペースト状食～)</p> <p><input type="checkbox"/> 8点 経口摂取の可能性検討 注1) プレ食にて</p> <p><input type="checkbox"/> 9点以上 経口摂取困難</p>
<p>★【評価用ゼリー】・【交互嚥下用ゼリー】: ISOTONIC GREEN JELLY (株) ニュートリー: 硬さ 5,000N/m<sup>2</sup> 付着性 89j/m<sup>2</sup> 凝集性 0.43 (温度 10℃時測定値)                  注1) プレ食: 0j、1j、0t 食品でお楽しみ程度の限定量 トロミ 0.5g /100cc                  ☆嚥下調整食: 学会 2-1 ビラミット L3 特別用途Ⅱ UDF 区分 4 スマイルケアペースト状 2</p>		